商店街をもっと見る。もっと知る。

京都商店街新聞

KYOTO SHOPPING DISTRICT PRESS

2026.9 Vol.24

発行：京都府商店街振興組合連合会
〒600-8009 京都市下京区四条通室町東入函谷鉾町 78（京都経済センター３階）
TEL：075(342)0301 FAX：075(342)0302
URL：https://syouren.or.jp

CONTENTS

インタビュー：北大路商店街振興組合 ／ 商店街の取り組み ／ 京都サンガF.C.訪問 ／
商店街コラボ創出事業補助金 ／ 商店街カレッジ・商店街これかラボ ／ 京都発企業の魅力探訪 ／ and more…

次号予告 2026年11月末発行
商店街インタビューほか



人が行き交い、人が集う 京都の「キタ」の商店街

京都府立植物園や鴨川（賀茂川）など、豊かな自然が近い北大路商店街。今号では、京都市北部の交通の要所でもある北大路商店街の伊藤理事と山本理事にお話を伺いました。


昭和49年頃の烏丸車庫の様子（現在の北大路ターミナル・イオンモール北大路）

アーケードとともに始まった商店街

地下鉄北大路駅に近く、京都府立植物園や鴨川（賀茂川）にもほど近い北大路商店街。現在は67店舗が加盟し、地域の暮らしを支える商店街として親しまれています。その始まりは大正から昭和にかけての区画整理や都市計画が背景にあったともいわれていますが、商店街組織としてはアーケードの設置をきっかけに、昭和48年（1973年）に北大路商店街振興組合が設立されました。その後、路面電車の運行終了に伴う烏丸車庫の廃止、地下鉄北大路駅や北大路ビブレ（現在のイオンモール北大路）の開業など、商店街周辺の環境は大きく変化。そうした変化のなか、交通の要所として多くの人が利用する場所となっています。2022年には振興組合設立50周年を迎え、地域に根付き歩んできた歴史を感じさせる節目となりました。

地域住民、学生、観光客まで多様な人が行き交う商店街の変化

商店街の最大の特徴は、JR京都駅から地下鉄で約13分という利便性に加え、北大路ターミナルや地下鉄北大路駅が集まる交通アクセスの良さです。周辺には住宅や大学も多く、地域住民や学生の利用も多いのが特徴。防犯カメラも整備され、安全・安心な環境があることから、学習塾も多く集まっています。

来街者は、地域住民や地下鉄利用者など、幅広い層が商店街を利用しています。かつては食料品や生活関連品を扱う店舗が多かったそうですが、時代の変化とともに不動産や美容、各種スクールなどのサービス業が増え、地域のニーズに合わせて店舗の姿も変化してきました。



防犯カメラを設置し、安心・安全な環境を実現

地域とのつながりを大切にし、人の温かさを感じられる商店街だと感じました。

商店街では、こうした利用者の方々向けに、初夏の感謝祭・冬の感謝祭として、毎年２回、プレミアム商品券セールの取り組みを行っています。

インタビューを終えて



景観を大事にするため、道路沿いに四季折々のお花を商店街の皆さんで育てている取組みが最も印象的で、利用者に少しでも気持ちよく過ごしてほしいという思いが伝わってきました。普段何気なく歩いている商店街にも、地域の方々の温かな思いや工夫が詰まっていることも知りました。今回の取材をきっかけに、これからは季節ごとの花にも注目し、地域の方の細部までのこだわりを感じながら商店街を歩いてみたいと思います。この度はご協力いただきありがとうございました。


伊藤理事もおすすめ！
北大路橋から望む鴨川（賀茂川）の景色。

心地よいKYOTOのキタ、花の街・北大路

街中にありながら、
植物園や鴨川の豊かな自然も
身近に感じられる商店街です

商店街DATA
北大路商店街振興組合
京都市北区小山上総町17
☎075-492-0033
https://kyoto-kitaohji.com/
●創立：1973年（昭和48年）
●組合員数：67店舗





年2回の感謝祭

商店街の枠を超えた独自の活動

北大路商店街振興組合

北大路商店街では、多様な地域特性とポテンシャルの強みを活かしつつ、商店街の枠を超えた地域連携による新しい取組みが行われています。

地域特性を活かした来街者に向けた取組み

京都府立植物園や鴨川（賀茂川）とのつながりから、北大路商店街では「花の街」をキャッチコピーに掲げており、アーケードのプランターには色とりどりの花が植えられています。年に2回、夏の花と冬の花に植え替え、商店街の組合員が日々の水やりを行うなど、訪れる人が気持ちよく歩ける景観づくりにも取組まれています。まち美化による効果は、来街者に安心感を与えるほか、ポイ捨て抑止や組合員同士のつながり強化にもなるそうです。


四季折々の花が咲くアーケードのプランター

地域全体も視野に入れた商店街活動へ

最近では、商店街が抱える課題は周辺地域の課題につながることも多く、商店街も地域の一員として、枠にとらわれない活動や連携が求められることが多いといわれています。

北大路商店街では、「賀茂川周辺活性化プロジェクト」に参加しており、京都府や京都府立植物園、北山街協同組合や周辺地域の方々と定期的に地域の現状や課題などについて意見を交わし、北大路を含む賀茂川周辺地域の活性化のための取組みを模索されています。

また、京都府立植物園で開催されていたLIGHT CYCLES KYOTO（ライトサイクル京都）には北大路商店街から複数の店舗が出店。周辺地域のイベントに参加することで、普段商店街を利用しない人にもお店や商店街を知ってもらう機会になったとお話しいただきました。ほかにも、「プチ出張植物園」というイベントを京都府立植物園と共催。植物園で廃棄予定のシュロの葉を活用した「小さなかご作り」ワークショップを開催し、植物園の魅力や植物に親しむ機会になったそうです。

商店街が持つ課題と掲げる理想像

今後の商店街について、伊藤理事は、インバウンドだけでなく、京都を何度も訪れる国内の「京都ファン」にも、商店街や北大路の街を知って欲しいと話します。北大路橋から望む四季折々の景色など、観光名所にはない北大路ならではの魅力があることを、実際に歩いてもらうことで、感じてもらえればとお聞きしました。

また、山本理事からは、昔ながらの個人商店に加え、学習塾や大手企業の店舗など多様な業態が加盟する現在の商店街だからこそ、組合員それぞれが「商店街に入ってよかった」と感じられるようなメリットや仕組みを生み出すことが今後の課題だとお話しいただきました。



北大路商店街 まだまだある注目店

一部を紹介！

創業80年を超える老舗楽器店
アメリカヤ楽器店

弦楽器・ピアノを中心とした販売から、調律・修理・音楽教室まで幅広いサービスを展開しています




3歳のお子様からシニアの方まで、マンツーマンで受けられる音楽教室



☎075-441-2341
営業／10:0～19:00
定休／無休（年末年始を除く）

人が集い、交流が生まれる地域のカフェ
けやきCafé

厳選素材を使った手作り料理やスイーツを中心に、音楽ライブ、落語など、多彩な企画イベントも開催


黒毛和牛ホホ肉のカレー


煮込みハンバーグ



☎075-451-1178
営業／11:30～17:00
定休／月曜・火曜

お店のユニークな取組みや工夫をご紹介

店舗Pick Up! 商店街図鑑 in 北大路商店街振興組合

伝統を守りつつ、新たな需要も生み出す茶舗の工夫

山本園茶舗





1854年（安政6年）創業の山本園茶舗。宇治茶を主軸に、時代の変化やニーズに合わせた商品の開発にも力を入れています。抹茶需要が高まる現在も、宇治茶の品質や味、香りを大切にしながら、より身近に楽しめるお茶のカタチを模索。お茶に馴染みのない人にも手に取ってもらえるよう、スパークリングやカプチーノなど、新たな楽しみ方を提案しています。

また、京都府立植物園や近隣の大学と連携し、体験型のイベントやコンテンツづくりにも取り組んでおられ、地域や教育機関とのつながりを活かしながら、新たな接点をつくることも大切にしています。

「お茶をもっと身近に感じてもらい、若い世代にも日本茶の魅力を知ってほしい」と店主。お茶の価格変動など、業界を取り巻く環境が変化する中でも、茶舗としての誇りを持ち、日々の暮らしにお茶を取り入れてもらえる方法を模索しています。


お茶の新しい楽しみ方を提案しています

☎075-493-1812
営業／10:00～19:00
定休／日曜・祝日

ホームページはこちら

本物の味と地域のニーズを両立する中国料理店

森焱軒（もりえんけん）





オープンして2年目を迎える中国料理店「森焱軒」。中国大使館でも勤めていたことのある料理長が、中国の代表的な料理を提供しています。

お店が大切にしているのは、「本物の味」と「日本人に合う味」の両立。切り方や火加減、辛さや味の濃さを細かく調整し、中国料理に馴染みのない人も楽しんでもらえる味を追求されています。また、添加物への配慮や食材の新鮮さにもこだわっています。

接客では、お客さんとの会話や笑顔を大切にし、料理をきっかけに交流が生まれる店づくりを心掛け、地元住民、近隣で勤めている方など幅広い層に支持され、リピーターにもつながっているそうです。

「若い人にももっと本物の中国料理を食べてほしい」とオーナーの王さん。地域の客層に合わせた味やサービス、価格面から店づくりを考え、新たなファンを増やされています。


学生メモ
絶品と評判のチャーハンは日本人にも合う味と感じました



学生メモ
イカの炒め物は山椒が程よく効き、でも辛すぎず美味しくいただきました

☎075-334-8266
営業／11:00～14:30
17:00～20:00
定休／なし（年末年始は除く）

取材・文＝京都外国語大学
加藤万由子（外国語学部 フランス語学科 1回生）
渡邉凜子（外国語学部 フランス語学科 1回生）

京都サンガ F.C. × 京都商店連盟
京都商店連盟会長がクラブハウスを訪問


©KYOTO.P.S.

～地域を元気にする同じ仲間として～

これまで体験イベントやフラッグ掲出など、さまざまな協力関係を築いてきた京都サンガ F.C. と商店街。この度、京都商店連盟の上田会長が同クラブのクラブハウスを訪問。株式会社京都パープルサンガの飯野社長と対談し、京都への想いや地域活性化、連携事業など幅広く語り合いました。

プロのスポーツクラブ経営と、一般企業や商店の経営には、どのような共通点や違いがあるのでしょうか？





（飯野社長） 経営という点では、基本的に違いはないと思います。商店でも企業でも、人を雇うということ自体が、社会で一つの役割を果たしていることになります。スポーツクラブも同じです。私たちも人を雇用し、運営を続けるためにも企業として利益を出していく必要があると思っています。

（上田会長） そうですね。商店もクラブ経営も、根本のところでは変わらないと思います。しいて言えば、京都サンガ F.C. を見ていると、試合の結果だけではなく、私たちは「元気と勇気をもらえる」と感じます。そこはスポーツの大きな力だと思います。

地域の活性化やにぎわいづくりという点で、京都サンガ F.C. と商店街との連携についてはいかがでしょうか？




©KYOTO.P.S.

（上田会長） 商店街では、フラッグを掲げたり、チラシを配布したりするなど、さまざまな形で応援しています。それと、ご近所の方々が「おはよう」「こんにちは」と声を掛け合うように、「昨日のサンガ、どうだった?」という会話が、コミュニケーションや地域の潤滑油になる。スポーツをきっかけに会話が生まれる、そういう役割も京都サンガ F.C にはあるのではないでしょうか。

（飯野社長） まさに、日常の話題になれることが大事だと思います。サンガの試合が、翌日に地域で話される話題になれば、クラブとしても地域に貢献できているのだと思います。商店街へは、今後もビラ配りやマスコットの参加などより積極的に出ていきたいと思っています。

読者である商店街の皆さんへメッセージをお願いします。

（飯野社長） 京都サンガ F.C. は設立から32年たち、これからもチャレンジャー精神で挑戦し続けることが大切だと思っています。今年は設立以来初めてアジアの舞台に立つことができ、歴史の1ページを刻みます。大切なのは結果だけではなく、常に挑戦する姿を見ていただくことです。商店街の皆さんも、それぞれの地域で日々挑戦されていると思います。私たちも同じです。サンガの挑戦が、皆さんの元気や勇気につながり、一緒に京都のまちを盛り上げていければと思っています。



（上田会長） 私自身も試合には一喜一憂しながら、勝敗にも注目しています。でも、やはりスポーツは、結果だけではなく、その姿を見て元気をもらえるところだと思います。商店街も、京都サンガ F.C. も、地域の中で人と人をつなぎ、まちを元気にする存在です。

これからもお互いに連携を深めながら、京都のまちを一緒に盛り上げていきたいと思います。

みんなで京都サンガ F.C. を応援しよう！

京都サンガ F.C. ホームページ

ホームゲーム日程

［Jリーグ］10月10日（土） 19:00　FC 町田ゼルビア
［ACLE］10月13日（火） 19:00　ラーチャブリー FC
［Jリーグ］10月21日（水） 19:00　鹿島アントラーズ
［ACLE］10月27日（火） 19:00　ニューカッスル・ジェッツ
［Jリーグ］10月31日（土） 14:00　清水エスパルス

京都市

商店街コラボ創出事業

スタートアップをはじめ、民間事業者等と商店街の連携を促進、消費創出等の新たな取組を支援し、商店街の活性化を図るものです。

受付期間 （①・②共通）
令和８年５月７日(木)～同年11月30日(月)　※募集対象は令和９年度に実施する取組
※②は先着順

① 新消費創出促進事業補助金

商店街を舞台として、新規顧客開拓や新製品・新サービスの開発など、新たな消費を創出する事業に連携して取り組む商店街と民間事業者等に対して支援します。

補助対象者
商店会、地域商業ビジョン推進団体、個人又は法人の事業者（民間事業者等）

補助対象事業
商店街を舞台とした、新たな消費の創出につながる事業

補助率・補助上限額
1/2（上限 100 万円）
※地域の課題解決につながる公益性を有する取組は補助率 2/3

② 空き店舗等を活用したスタートアップ拠点設置実証事業補助金

商店街に新たな事業所を開設するスタートアップ等に対して、事業所の開設費や賃借料の一部を補助し、その入居を促進することで、スタートアップ等と商店街の連携による商店街及び地域の活性化の可能性を検証するものです。

補助対象者
スタートアップ（ユニークなテクノロジーや製品・サービス、ビジネスモデルを持つ創業10年以内の個人又は法人の事業者であって、短期間で急成長を目指すもの）等

補助対象事業
市内の商店街での新たな事業所の開設

補助率・補助上限額
2/3（上限 400 万円）

活用事例ピックアップ

実際に当事業を活用して、新たなチャレンジを始めている商店街の事例をご紹介します！

事例1　学生とタッグ！
空き店舗を地域の交流拠点&インバウンド体験の場に。
近隣スーパーの閉店をきっかけとして、大学のゼミ生などと連携し、空き店舗を活用してパン屋やカフェ、朝採り野菜を販売する八百屋を誘致した事例です。カフェには地元の建築を学ぶ学生も参加し、地域住民のコミュニケーションの場として賑わっています。

事例2　旅行会社と連携！
地域の歴史や生活文化を体験する特別ツアー。
専門の旅行会社と連携し、海外からの観光客や富裕層向けに、商店街や地域の歴史・文化を深く体験できる特別ツアーを企画した事例です。歴史的な文化体験や、和菓子店、呉服店、お茶屋などの店舗を巡って日本の「生活文化」に触れる少人数制ツアーを実施しています。

事例3　PRのプロの力を借りて、情報発信を強化！
情報発信の専門企業と連携し、SNS（Instagram など）の公式アカウントを立ち上げ、定期的に店舗情報を発信している事例です。さらに、インフルエンサーを起用して商店街で実際に飲食や買い物をしてもらい、その様子を拡散してもらうことで、これまでリーチできていなかった若年層など、新たな顧客層の来訪と集客アップを狙っています。

お問い合わせ　京都市産業観光局 地域企業振興室　電話 075-222-3340　E-mail shogyo@city.kyoto.lg.jp

第3回 今年も開催！
京都商店街めぐり デジタルスタンプラリー
参加費無料
開催期間 2026年 9月26日(土)～11月29日(日)
各商店街の商品券やお食事券などご用意しました！
アプリのダウンロード不要
参加方法
1 右記の二次元コードから登録参加！
2 商店街をまわってエリアクリアしよう！
3 賞品に応募しよう！
参加はこちらから
京都市内 5 エリアの 24 商店街をまわって豪華商品を当てよう！

京都府

商店街カレッジ

京都府商店街創生センターでは、
商店街に関わる多様な人材が事例を学び実践する場として
「商店街これからラボ」を、開催しています。
今年度はより実践的・具体的な活動につながる下記のプログラムを開催します。

参加無料 申込受付中

第１回　「商店街の“センチメンタル価値”」
～「なぜ商店街は必要なのか」を改めて考える～

和歌山大学の足立先生をお招きし、商店街がなぜ魅力的なのか、商店街の価値・存在意義を考え直します。
キーワード：センチメンタル価値、文化的価値、商店街活性化

会場MAP


日時　10月7日(水) 18時30分から20時30分
場所　更生保護法人盟親（メイシン）　会議室
（京都市中京区六角通大宮西入因幡町 112 番地）
協力　京都三条会商店街振興組合


ゲスト　足立（あだち） 基浩（もとひろ） 氏
和歌山大学副学長・経済学部教授
専門は、地域再生と街づくり・都市再生
著書：「シャッター通り再生計画」
「イギリスに学ぶ商店街再生計画」等多数
テレビ出演：「関西情報ネットten」（読売テレビ）等多数

開催予告
●第2回 11月25日(水)「住民からの官民連携の進め方」
●第3回 1月27日(水)「エリアリノベーションの実践」
※詳細は決まり次第お伝えします

お申し込みはこちら
右の二次元コードを読み込み、専用フォームから入力
※会場の都合で、先着20名になります

商店街これからラボ

1日プログラム 参加無料

店づくり編　起業と商売のリアルを学ぶ1日講座

日時　10月17日(土)
14時から17時
【懇親会 ～20時】
定員　20名
場所　東寺道BEER CENTER
（京都市 東寺道親交会周辺）


ゲスト
東寺道親交会会長
株式会社 CASA 代表取締役 ほか
にしやま そうざい
西山 相在 氏

内容
●ゲストトーク
●意見交換ワークショップ
●商店街のまち歩き
●交流懇親会


開発が進む京都駅南エリアにある商店街。新規店舗やチャレンジショップの屋台出店など新たな挑戦が相次ぎ、これから商売を考えている方にとって学びの多い注目の地域です。

お申し込みはこちら
右の二次元コードを読み込み、専用フォームから入力
※応募多数の場合、選考を行います。
申し込み締切 10月14日(水) まで

お問い合わせ　商店街創生センター
600-8009 京都府京都市下京区四条通室町東入函谷鉾町
TEL.075-342-0303 / E-mail:shotengai-c@pref.kyoto.lg.jp

京都市 中小事業者等を応援

令和８年度７月補正予算事業
補助金でおトクに省エネリノベーション

京都市内の中小事業者等の光熱費の負担軽減とあわせて、CO2 排出量の削減を促進するため、省エネ設備の更新に係る費用の一部を補助します。　※京都市内の中小事業者・自治会等限定

補助対象となる設備
空調設備（エアコン）：2025年以降の製造設備
照明機器：LED照明機器
給湯設備：2025年以降の製造設備かつ燃料転換となる設備
冷凍冷蔵設備：省エネ型の指定設備※　※資源エネルギー庁「省エネ・非化石転換補助金（設備単位型）」における指定設備

機器費・工事費の 1/3 を補助　最大 200 万円

申請受付期間　令和8年8月28日(金) ～令和9年3月31日(水) 先着順
※予算額に達し次第、申請受付を終了します

- 補助金額は、20万円（下限）～200万円（上限）です。
- 補助対象経費は消費税相当額を除いた補助対象事業に係る機器費・工事費です。
- 本募集において、同一の補助対象者が複数回申請することはできません。また、複数の事業所について申請する場合は、1回の申請にまとめてください。
- 本事業は、物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を活用しています。

お問い合わせ　HPはこちら
京都市中小事業者の省エネリノベーション支援事業補助金事務局
https://j-lppf2.jp/kyoto-chusho-eco/
電話 075-275-3056
午前９時３０分～午後５時３０分（土・日・祝・年末年始を除く）
E-mail kyoto-chusho-eco@bsec.jp

京都市

令和８年度７月補正予算事業
京都市省エネ家電への買換え促進事業

京都市では、家庭における電気代の軽減を図るとともに、二酸化炭素排出量の削減に繋げるため、市民の皆様を対象に、省エネ家電（エアコン・冷蔵庫）への買換え費用の一部を支援します。

申請受付期間　令和8年8月28日(金) ～令和9年3月31日(水)
※予算額に達し次第、受付を終了します

補助要件
京都市内に所在する住宅に自ら居住する方が、本事業の登録店舗※で対象製品に買い換える場合に補助の対象となります。
※登録店舗等、本事業の情報は右下の専用ホームページをご覧ください。

申請方法
補助金の申請等の手続きや補助金の受領は、登録店舗が行います。
購入者（市民）への還元は、購入金額からの補助相当額の値引きによって行われます。

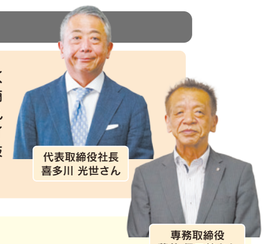
補助対象となる製品
省エネ基準達成率 １００％以上の エアコン・冷蔵庫
※統一省エネラベルの省エネ性マークが緑色のものが対象です。
緑色のマーク


統一省エネラベルの例

お問い合わせ　HPはこちら
京都市省エネ家電への買換え促進事業事務局
市民からの問い合わせ先
電話 0120－680－370
午前９時３０分～午後６時（土・日・祝・年末年始を除く）
https://kyoto-shoene.jp

京都発企業の魅力探訪

第11回　光工業株式会社


代表取締役社長 喜多川 光世さん
専務取締役 藤井 伊三美さん

全国で活躍する京都発祥の企業は数多く存在しています。今回は京都の道路や商店街のインフラを支える事業を展開されている「光工業株式会社」様に、商店街のインフラ事情や商店街の可能性など、多岐にわたるお話をお聞きしました。

光工業さんの特徴や事業内容、商店街との関わりについて教えてください



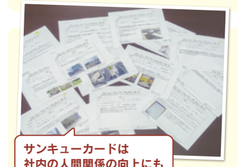
舗装・土木・建築工事を中心に、アスファルト合材の製造販売、調査・測量、体育施設、産業廃棄物の中間処理まで、まちのインフラ整備の事業を展開しています。商店街では、アーケード工事や舗装工事に長年携わってきました。工事には一軒一軒のお店や日々の人の流れがあるため、お店の方や地域で暮らす方の立場も考え施工しています。

他社にはない強みや技術、サービスはどんなところですか？

私たちは仕事に「基本価値」と「付加価値」があると考えています。品質や安全など基本価値に加え、「営業中のお店への影響をどう減らすか」「お客様が安全に歩けるか」といった、言葉にはないお客様の期待まで考えることが強みです。また、付加価値をどれだけ高められるかがリピーターの獲得につながるため、新規顧客はもちろん、リピーターのお客様を大切にするようにしています。ほかにも資格取得や社員教育、専門知識の共有で提案力を高めるほか、ドローンや三次元測量などのICT技術も導入し、品質向上や負担軽減、将来の維持管理までつなげるようにしています。



人材確保が厳しいと言われる時代、力を入れている採用方法や社内環境の取組などありますか？





サンキューカードは社内の人間関係の向上にもつながっています
社員同士のコミュニケーションが深まる「焼肉大会」

人材採用では数を確保するだけでなく、一緒に会社をつくる仲間を採用する視点を大切にしています。また、同じくらい重要なことが「長く働いてもらうこと」。ES（従業員満足度）とCS（顧客満足度）を両輪と考え、満足度アンケートの声から待遇・職場環境の改善につなげる工夫などもしています。資格取得や勉強会にも力を入れ、社員を最大の財産と捉え、誇りを持てる会社を目指しています。「ESがCSを生み、CSがESを高める」。良い仕事への「ありがとう」がやりがいにつながる。この好循環が、定着と成長につながると考えています。

光工業さんにとって商店街はどんな存在ですか？

商店街は、地域の「経済」と「暮らし」と「人」が交わる場所です。人が歩き、お店に入り、交流が生まれて初めて価値が生まれる、地域の重要なインフラだと思っています。京都には長い歴史の中で培われた商店街が数多くあり、その財産を支えることが私たちの役割です。
これまでは工事の依頼を施工することが中心でしたが、これからは商店街の皆さんとまちの将来を一緒に考えるパートナーとしても見ていただけたら嬉しく思います。


商店街では歩く人のことを考えたカラー舗装・板石舗装やデザインシェードも施工しました

商店街インフラ、サービス含め、アドバイスがあれば教えてください。

一番大切なのは、利用者の目線で商店街を見ることかと思います。健脚な人には問題なくても、高齢者やベビーカーの方には段差や水たまりが大きな問題になります。そうした不便をなくすことが商店街の魅力につながるのではないでしょうか。また、アーケードや舗装は壊れてから直すのでなく、商店街の将来像を見据え中長期的に整備することも重要です。私たちのような建設会社の知識を、修繕だけでなく価値を高めるために使っていただければ幸いです。

光工業株式会社 ホームページはこちら

総合建設業　光工業株式会社
光工業株式会社
京都市伏見区竹田中島町５
TEL：075-641-5361